

としょだより

なんばー 7 ねん がつ 2023年12月
ゆ の しょうがっこうとしょしつ
湯野小学校図書室

10月読書旬間

『家族で本に親しもう!』ご協力ありがとうございました



ご家族の皆様におかれましてはお忙しい中、ご協力いただきまして心より感謝申し上げます。ご感想から、お子様ご家族の方ともに、本を通じた触れ合いを楽しんでいただけたことが伝わってきました。

これからの年末年始やお休みの際には、またぜひ、ご家族皆様で本を読んで感想を伝え合ったりして、少しでも本に親しむ時間を日常に取り入れていただけたらと思います。

それでは、ほんの一部となりますが、ご感想をご紹介します。

児童の感想



○石川けんのゆうめいなものをしらべました。ねあがりのまつのき、フィッシュランドもあります。おんせんがあります。かがまるいもをたべてみたいです。こふんとかもあります。石川ドゥブツエシ。釜ぱくがきれいだとおもいます。こくぞうゆず、ゆずぶろにはいりたいなあ。かなざわしっき、もようがきれいです。くたにやきはおさらのもようがきれいです。ここからはつれるさかなたちです。やりいか、かに、スルメイカ。これでおわりです。(1年生、読んだ本『子ども日本地図』)

○よむのがむずかしかったり、ながかったけど、

よむのはたのしかったです。(1年生、『おいなりさん』)



○ホテルのなかに「ピピ」と言うホテルがいて、そのホテルがとべなくて、とべるようになるようにみんなで力をあわせるのがすごい。「ピピ」と言うホテルがすむところは、ホテルがすむことができなくて、すみやすいところへ行くときにいろんなしれんをのりこえるときに、たすけあって行くのがびっくりした。(3年生、『ピピとべないホテル』)

☆11、12月 読書の達人☆

| | |
|-----|----|
| 1-1 | 1人 |
| 1-2 | 1人 |
| 2-1 | 1人 |
| 2-2 | 6人 |
| 3-2 | 1人 |
| 5-1 | 1人 |
| 5-2 | 1人 |
| 6-2 | 1人 |

ホームページ上におきましては、氏名は控えさせていただきます。

合計 13人 (今年度総計 64人)

○またママといっしょに図書館にいて本をかりたり読んだりしたいです。

(3年生、『超善ガール』)

○電車の名前とどこを走っているかを、お母さんにクイズで出して答えてもらい、まちがっていたけど楽しかったです。(4年生、『電車まるごと大集合』)

○わたしもそんなやさしいゆずりあいのできる人になりたいです。(4年生、『どうぞのいす』)

○この前はお父さんが読んでくれたけど、今回は自分で読んで、お父さんのおもしろさと比べたらまだまだだと思ったので、また読書をして、お父さんを笑わせたいと思いました。(5年生、『ちびくろ・さんぽ』)

○周りにながされずに、こまっている人がいたら助ける心が福をよぶとわかりました。よしのじいのような心を持ちたいです。(5年生、『びんぼう神』(昔ばなし))

○家ではあんまり本を読まないから、読めてよかったです。百しょうは武士になれなくてもトレーニングを続けていて武士になれる日がきて、続けていればむくわれるのだと思った。(6年生、『土方歳三』)

○『ぐるぐるの図書室』を読んで、もっと本が好きになったし、不思議でおもしろい話だと思いました。図書室や本のことをテーマにした話で、それぞれの人にぴったりの本があって、それぞれの物語があると分かりました。これからいろいろな本を読んでみたいです。

家族の感想

○普段、体を動かしたりゲームをしたり、騒がしいことを一緒にしているので、図書館という静かな場所で目的の本と一緒に探す経験は貴重な時間でした。

また、本を読みながら、息子がカマキリのことを教えてくれて、意外と物知りなんだなと感じることもできました。(1年生、『カマキリ』)

○「かめさんのようにコツコツ、いっぱいぼどりよくすれば、つよいあいてにもかてる。えほんをよんで、すこしずつたわったかな。」

日頃、言葉では説明できないことを読み聞かせて伝えることができ、良い機会になりました。(1年生、『うさぎとかめ』)

○前日も本人の希望で「子供が家の人に読んで聞いてもらおう」でした。今回は以前のよりもページが多い本を気持ちを含めた読み方で表現力があり、子供の成長を感じました。(3年生、『ピピとべないホテル』)

○生き物には、それぞれ自然界での役割があり、一見意味のなさそうな感じが、実は意味があり、生き物がお互いに支えあっているなと思いました。色々な生き物を見られて、とても楽しかったです。(3年生、『ざんねんな生き物』)

○最近、戦争に興味があったので、子どもと一緒に戦争の本を選んだ。本を読んだ後に、子どもと戦争について話し合うきっかけになった。戦争をしている国がある中、日本の平和を幸せに感じる事ができた。また、子どもと図書館に行くことが少なかったので久しぶりに意見を言いながら本を選ぶことが楽しかった。(4年生、『せんそうってなんだっただの?』)

○末妹に読んであげ、妹は読んでもらった後にもう一度読み返していました。私(母)が好きな本が姉妹に伝わって読み広まる光景は微笑ましかったです。(4年生、『どうぞのいす』)

○高学年になると絵本と一緒に読む機会がほぼなくなり寂しいですが、「家族で本に親しもう」になると、一緒に見られるので楽しかったです。子どもの絵を見る目線が私と違うので、色々な発見ができるので面白いです。(5年生、『みみかきめいじん』)

○本を読むという事に対して抑揚をつけたり、表情で印象付けたり、工夫する事を楽しんでいるようで、すごく面白く聞けました。(5年生、『ちびくろ・さんぼ』)

○歴史がわかりやすく書かれている本なので楽しく読めました。授業で歴史を習っているので、その話も交えながら子供から話も聞けました。(6年生、『大坂城へタイムワープ』)

○同じ本を読んでお互いが思ったこと、違う気付きがあることが知れて良かったと思います。(6年生、『たまごのはなし』)



カーテンコールはきみと
/神戸遥真/偕成社

放送委員はにんきもの
/小松原宏子/ほるぷ出版

ぬまの100かいだてのいえ
/いわいとしお/偕成社



いろいろななかぞく
のほん/メアリ・ホフマン
/少年写真新聞社

不可能を可能にする
大谷翔平120の思考
/大谷翔平/BOOKびあ

こども絵本エルライン(2)
鉄道ずかん/小賀野実
/JTBパブリッシング

「ふつう」ってなんだ? L G B T について知る本
/特定非営利活動法人ReBit/Gakken

世界のスポーツカー図鑑
/スタジオタッククリエイティブ

